

# 事務事業評価シート(平成20年度実績分)

## (1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名	
06404	公共下水道水処理施設維持管理事業	建設水道課	水処理センター	増澤 秀行	一ノ瀬 保弘	
		一次評価年月日	平成 21 年 6 月 29 日	連絡先(内線)	2166	
6 4 0 4	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分			事業コード	事業名(歳出予算見積書)
		<input type="checkbox"/> 一般	<input checked="" type="checkbox"/> 特別		5701	水処理センター管理事務
	<input type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 特別		#N/A		
	第四次総合計画後期基本計画 の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	3章	夢のある地域形成	
		節	(コード選択)	3節	町の基盤を整備する	
		項[基本施策]	(コード選択)	314	下水道の普及	
主な取り組み		(コード選択)	3143	施設の維持管理		
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input checked="" type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他		
事務期間	(開始)	3 年度 ~ (終了予定)	年度	L	開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし

## (2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(〜に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

公共下水道の利用者

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

①河川の水をきれいにする。  
②下水道を低料金で使用し、快適な生活をする。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 辰野水処理センター、中継ポンプ場及びマンホールポンプ場の運転管理、保守点検及び緊急時の対応
- 辰野水処理センターの水質検査計画の策定及び水質検査の実施
- 薬品類などの消耗品類の発注
- 施設の修繕計画策定、設備点検や修繕工事の設計、施工、監督

## (3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		19年度	20年度	21年度 (見込み)		22 年度 (見込み)	
①	指標名	故障や異常の件数	16	30	24		24
	説明	辰野水処理センター・辰野中継ポンプ場・平出中継ポンプ場の故障や異常件数	目標値設定の根拠 過去3年の平均値				
②	指標名	水質検査回数	338	338	338		338
	説明	辰野水処理センター放流水の法定項目水質検査回数	目標値設定の根拠 法定水質検査項目数×回数(処理場内検査+委託検査)				

## (4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		19年度	20年度	21年度 (見込み)		22 年度 (見込み)	
①	指標名	放流水の生物化学的酸素要求量(BOD)の目標値達成率	100	96	100		100
	説明	放流水BOD目標値5mg/l以下の検体数÷全検体数(24検体)	目標値設定の根拠 計画放流水質15mg/lの1/3の5mg/lを放流水目標とする。				
②	指標名	放流水が排水基準値以内である割合	100	100	100		100
	説明	排水基準値内の検体数÷全検体数(項目×回数)	目標値設定の根拠 排水基準を超えないこと				

## (5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法

決算書・予算書等に記載の数字

按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	平成19年度 決算	平成20年度 決算	平成21年度 見込み	平成22年度 見込み																
対前年比		%		104.9	112.8	100																
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)			106,794	111,999	126,289	126,290																
B) 一般財源(税金)			0	0	0	0																
①事業費		(千円)	102,710	108,209	122,374	122,375																
対前年比		%		105.4	113.1	100																
②人件費の概算		(千円)	4,084	3,790	3,915	3,915																
対前年比		%		92.8	103.3	100																
			課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費											
			H20	H21	H22	H20	H21	H22	H20	H21	H22	H19	H20	H21	H22							
町職員(正規職員)			0.02	0.31	0.31	0.02	0.02	0.07	0.07	0.07	0.01	0.01	0.01	0.47	0.40	0.40	0.40	4,084	3,790	3,915	3,915	
臨時職員			人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート									0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	B	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない 上伊那広域での一括しての処理場維持管理業務委託 公共・農業・特環一括してのマンホールポンプ維持管理委託
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	C	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり 使用料の3年毎の見直し
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している C 把握していない 処理場視察時・供用開始説明会などで把握している。

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する  イ. 見直しのうえで継続する  ウ. 終期設定  エ. 廃止  オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみを一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)  
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)  
 c 効率化を図る(コストを下げる)  
 d 縮小する(簡素化する)  
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(事業改善をした内容と実施時期を記入します。)
H18から水質検査委託、処理場管理委託を辰野・小野水処理センター併せて一括発注。一部薬品の見積を水道、下水道一括して実施。 H18から下水関係、農業の一部のマンホールポンプ維持管理を一括発注。 H19から全てのマンホールポンプ維持管理を一括発注。 H21からマンホールポンプの3年間の一括発注。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	21年度予算見積書への反映 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
H21年度は、マンホールポンプ維持管理の3年間契約を実施。計画的な修繕・更新工事を行うために、中期的な修繕計画を作成する。	[反映内容] 複数年契約によるコスト削減

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。 <input type="checkbox"/> をチェック
経年劣化による維持管理費の増大を抑え・平準化する為、修繕計画を作成する。	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持  イ. 見直しのうえで継続する  ウ. 終期設定  エ. 廃止  オ. 休止

c 上記 a~e を選択